



明和病院だより



2016年3月号

(1) 新任医師のご紹介 (平成28年2月16日付)

★総合健診センター 柴田 信博(副センター長 兼 肛門外来長)

十数年暮らしておりました西宮市で再び診療することになりました。排便後に出血した、便に血が混じっている、便がすっきりでない、肛門のあたりが痛い、がんができていないかと不安がある、便秘に苦しんでいる、検診で便に血が混じっているとされた、どの科にかかったらいいかわからない、他科や他院で診断がつかなくて困っている・・・そんな方々の問題解決の道しるべになればと願っております。

・専門：消化器病、がん診断・治療



★腎・透析科 山川 朋 (平成28年3月1日付)

3月より腎・透析科で勤務させていただきます山川朋と申します。これまでは兵庫医科大学病院で勤務しておりました。地域の皆様のお役に立てるよう頑張りますのでどうぞよろしくお願いいたします。

・専門：腎臓一般

(2) 医師から皆様へ

〈 がんにならないために そして、がんになってしまったら 〉

がんは増加の一途をたどり、二人に一人ががんに罹る時代となりました。診断法、治療法の進歩とともにがんの治癒率(≒5年生存率)も約60%まで改善しています。がんを予防することはもちろん、がんに罹っても諦めることなく適切な治療を受けることが重要です。



【がんの予防】

がんの発症原因として、遺伝的素因は少なく大多数が環境要因です。特に喫煙、アルコール、運動不足、偏食などの生活習慣が問題です。中でも喫煙は肺がんだけでなく、全がん死亡の30%以上に関わっており、受動喫煙も含めて直ちに禁煙すべきです。アルコールの過飲も、がんの原因となります(適量なアルコールは、ビールなら500ml、日本酒1合、焼酎100ml、ワイン2杯、ウイスキー1杯程度)。高脂肪食もまた、がんの原因となります。昨今の健康ブームで高脂肪食が敬遠され、和食回帰の傾向ですが、胃がんのリスクである塩分が多いため減塩を心がけて下さい。生活習慣の改善と共に重要なことは、がん検診受検です。胃、子宮頸部、乳房、肺、大腸、肝臓のがん検診は有効性が明らかになっています。しかし、兵庫県のがん検診受検率は全国のワースト5以内です。ご家族、知人を誘って是非、積極的に受検してください。感染症の中で、B型・C型肝炎ウイルスは肝がん、ヘリコバクター・ピロリ菌は胃

がん、パピローマウイルスは子宮頸がんの原因となりますが、有効な薬剤・ワクチンが開発され保険適応となっていますので医師に相談の上、治療を受けてください。

【がんが発見されたら】

がんの進行病期を知り、適切な治療を受けることが必要です。がんは、放置すると死に至ります。良い治療は「信頼できる医師」に相談するのが一番です。すでに各がんの診療ガイドラインが公表されていますが、あたかも金科玉条のごとくそれらを盲信する医師は避けたほうが良いでしょう。それぞれの病状・環境に合った、最適の治療を受けられるように導いてくれる医師を見つけることが重要です。

【がんの治療】

肝臓、胆嚢、膵臓、胃、大腸などの消化器がんの治療は、専門性の高い治療を受けることができる当院がお勧めです。早期消化管がん(食道、胃、大腸)には内視鏡で行う粘膜下層剥離術(ESD)を数多く行い良好な結果が得られています。進行した消化器がんの場合、専門家で相談して手術・抗がん剤・放射線などを組み合わせた集学的治療を行っています。他院で諦められた進行したがんでも、当院の集学的治療で治癒が得られることも少なくありません。また、乳がん、肺がんにも消化器がんと同様の集学的治療を行っています。

【おわりに】

がん予防に関しては総合健診センター(直通Tel42-3931)、治療に関しては本院にご相談ください。専門性の高いセカンドオピニオンも行っておりますのでご利用ください。お問い合わせは地域医療・福祉相談室まで(代表Tel47-1767)

副院長兼外科主任部長 柳 秀憲

(3) 医療講座(公民館主催)のお知らせ

・演 題：介護 もっと快適に

～介護保険の上手な使い方～

～訪問看護の現場から～

・講 師：訪問看護センター明和

主任 山形まゆ美(ケアマネジャー・看護師)

主任 中島 淳美(認知症ケア専門士・看護師)

・日 時：3月31日(木) 14:00～15:30

・場 所：南甲子園公民館(Tel 49-4741) ※無料(参加自由)



(4) 「第17回ピアノコンサート」のお知らせ

今月は「ピアノと歌のリサイタル」を開催します。美しいピアノの音色と共に素敵な歌声をお届けします。

・日 時：3月10日(木) 15:30～16:20

・場 所：中央館4階ロビー



(編集発行人 事務部長 沖田 明弘)